

社の空間構成に関する研究 その 8  
 神社の水上鳥居とその参道空間について  
 Study on space structure 8 on the Yashiro  
 About the overwater Torii of the Shinto shrine and the approach to a shrine space

佐藤信治<sup>1</sup>, ○今村夏波<sup>2</sup>, ○染谷萌衣<sup>2</sup>  
 Shinji Sato<sup>1</sup>,\*Kanami Imamura<sup>2</sup>,Moe Someya<sup>2</sup>

I limit it that the Torii which is one of the facilities of the Shinto shrine is underwater and I read a Torii and the relations of the main shrine and untie it. Solar movement, the sunrise, relations of the sunset were big, and, from a past study, the Shinto shrine and the placement of the object of worship, the position where a Shinto shrine was enshrined again knew what I was concerned with. As for this study, Torii established underwater investigated the relations with the Shinto shrine.

社の空間構成に関する研究 その 7  
 神社の水上鳥居とその参道空間について

1.はじめに

日本全国に 8 万社あるといわれている神社. 本研究においては神社の入口としての機能である鳥居が水に囲まれている鳥居を水上鳥居と定義し, 鳥居と本殿の関係を読み解いていくものである.



Figure1. Ithokusima Jinjya(1)

2.研究対象

研究対象として神社の鳥居が水中及び水に面するものに限定し, 調査規模は全国の神社、寺院とする. 対象は以下の 28 社.

1. 鹿島神宮(東)	8. 木嶋神社	15. 千東八幡神社	22. 穴守稻荷神社
2. 鹿島神宮(西)	9. 永尾神社	16. 森戸神社	23. 大村神社
3. 鹿島神宮(南)	10. 箱根神社	17. 諸口神社	24. 息栖神社
4. 香取神宮	11. 大池寺	18. 荒平神社	25. 江武戸神社
5. 白髭神社	12. 東大寺	19. 御座石神社	26. 江武戸海岸
6. 巖島神社	13. 薦神社	20. 八坂神社	27. 筑前二見ヶ浦
7. 龍神社	14. 磯前神社	21. 弁天神社	28. 花の窟神社

3.調査項目

3.1 立地 (社殿)

対象寺社の本殿の所在地.

3.2 立地 (鳥居)

対象寺社の鳥居の所在地.

3.3 系統

対象寺社が寺院, 神社かを判別する.

3.4 創建 (本殿)

本殿の創建時期を記載する.

3.5 緯度経度

鳥居の緯度経度を記載する.

3.6 本殿から鳥居の方角

方角および機首方位を記載する.

3.7 本殿から鳥居の距離

メートル表記により記載する.

3.8 水と関わり

鳥居と水との関わり方を判別する.

4.調査方法

3.1~4 及び 3.8 については文献, 資料等によって有力な情報を収集する. 3.5~7 については google earth を用いる. これらにより神社が鎮座している位置から鳥居との関係を調査・統計を行う.

5.分析結果

5.1 分布

調査対象の分布を調査すると, 北海道地方 0 基, 東北地方 1 基, 関東地方 8 基, 中部地方 2 基, 関西地方 5 基, 中国地方 2 基, 四国地方 0 基, 九州・沖縄地方 2 基となった. 大規模な河川が集中する関東地方では鳥居が水に面する傾向があるといえる.

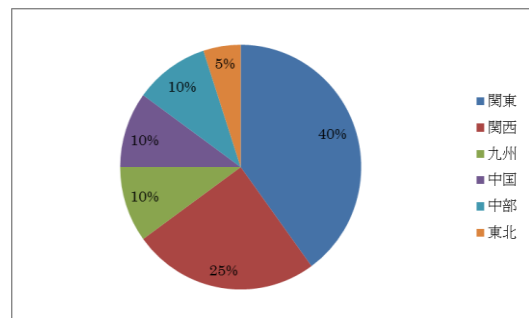


Figure2. Distribution

1 : 日大理工・専任講師・海洋建築工学科 Assistant Prof. of Oceanic Architecture & engineering, CST, Nihon-U, Dr. Eng.

2 : 日大理工・学部・海洋建築工学科 Department of Oceanic Architecture & engineering, CST, Nihon-U.

### 5.2 創建時期

古い時代から香取神宮において紀元前 643 から、新しいものが大村神社 1946 年と大きな開きがある。水面に面した鳥居をもった社殿が集中的に創建された時期は 700 年代であり、箱根神社、東大寺が創建された。平均創建時期は 534 年である。

### 5.3 方位・方角

方位、方角においてはこれまでの研究結果のとおり、本殿から南に面した鳥居が多かった。また、平均機首角度は 215 度であった。

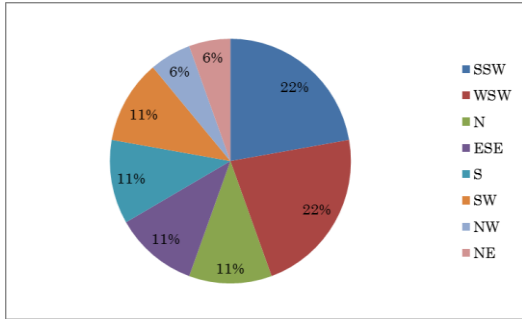


Figure3. Direction

### 5.4 距離

本殿から鳥居までの距離は対象寺社において大きな開きがあった。最短のもので 48m の木嶋神社の三柱鳥居である。最長は鹿嶋神宮南の一の鳥居で 9347m あった。平均距離は 1019m であり該当する鳥居はなかった。

### 5.5 創建時期と方位の相関

建時期と方位の特徴的な相関はなく、同時期に各方位を面した鳥居が建設されている。

### 5.6 距離と方位の相関

近距離に鳥居を持つ寺社の関係性は希薄といえる。しかし、長距離にある鳥居は西及び北方向に面する傾向があるといえる。

### 5.7 水との関わり

それぞれの鳥居がどのような水との関わりを持っているのか調査し、それぞれの鳥居を池、海、河川、湖、港湾に分類し統計を求めた。最も多かったのは池で全体の 35% の 7 基であり、さらに水中にあるものは 3 基だった。次いで海が全体 25% で 5 基となった。

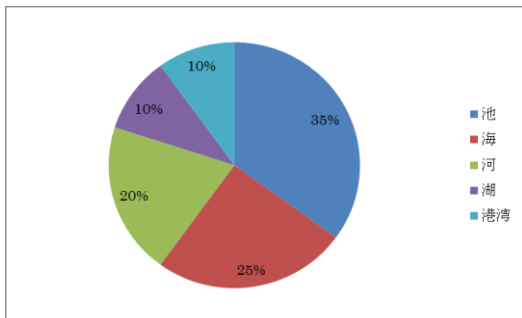
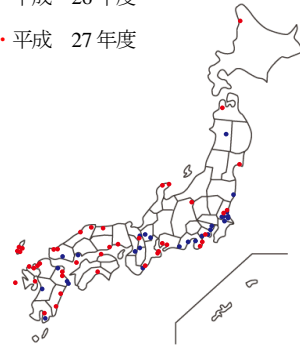


Figure4. Relation with the water

### 6. 水と参道空間の関係について

- 平成 26 年度
- 平成 27 年度



鹿島神宮(東)	弁天神社	桜井神社
鹿島神宮(西)	穴守稲荷神社	金尾稲神社
鹿島神宮(南)	大村神社	奈多八幡社
香取神宮	息橋神社	栗城八幡神社
白鹿神社	江武戸神社	青島神社
鹿島神社	江武戸海岸	白鹿神社
龍神社	筑前二見ヶ浦	阿古部神社
水嶋神社	花の意神社	伊奈須美神社
水尾神社	大倉神社	伊射波神社
箱根神社	大倉神社	鹿島神社
大船寺	大宮戸神社	鹿島神社
東大寺	箱神社	鹿島神社
鷹神社	御島神社	高山稲荷神社
鷹前神社	白山神社	大蛇神社
千栗八幡神社	奥津姫神社	平塚八幡宮
藤戸神社	大洗磯前神社	元宿神社
藤江神社	大宮神社	田島神社
常平神社	都農神社	大杉神社
御座石神社	一宮御神社	笠原神社
八坂神社	丸瀬戸神社	土佐神社
藤神社	常平天神	大山底神社
藤乃廣船成神社	伊和部比売神社	津々神社
鹿島御現神社	八百重神社	志能神社
地ノ舞島神社	猪達神社	河原御神社
牛座神社	伊古奈比咩命神社	

Figure5. Shrine of a taiget

本研究では文献、資料等によって情報を収集し参道空間の意味や空間構成について考察する。各項目においては研究対象 74 社の内、データとなるものをそれぞれ選定し、より多くの神社を対象とする事でより正確で確実なデータを収集する。



Figure6. Watatumi Jinjya (2)



Figure7. Sakurai Jinjya(3)

### 7.1 参考文献

- [1] 『伝統木造建築を読み解く』, 村田健一, 学術出版, 2006 年
- [2] 『神社建築の研究』, 福山敏男, 中央公論美術出版, 1984 年
- [3] 『鹿島神宮の四季』, 堀田富夫, 嵩書房

### 7.2 引用

- (1) <http://free-photos.gatag.net/2014/03/01/210000.html>
- (2) <http://island.jpn.org/direct1/t-map.html>
- (3) <http://love.exblog.jp/18006656>